

## 平成26年度局配分枠予算について

教育委員会

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

教育委員会では、全ての子どもたちが、伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓くための「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む学校教育と、世代を超えて地域で学び合う生涯学習において、市民と共に汗する「共汗」で、京都ならではの教育改革に取り組んでいる。

26年度においても、厳しい財政状況のもと、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、正規職員が実施している業務の嘱託化・職員数削減などの効率化を進めながら、幅広い市民ボランティアや大学、経済界等の参画のもと、さらなる教育改革の推進と、「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げた京都の未来像を着実に実現するための予算案とした。

### 2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

#### <新規事業>

小学校における教科書採択及び独自の指導計画（京都市スタンダード）作成	14,500 千円
教員の知的創造力探究事業など京都大学との連携	3,690 千円
ミドルリーダー教職員養成総合実践推進事業	24,292 千円
京都市図書館の利用促進に向けた開館日・開館時間拡大	20,547 千円

#### <充実事業>

学生ボランティア学校サポート事業	全体事業費 30,186 千円（うち充実分 620 千円）
スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー配置拡大	全体事業費 217,386 千円（うち充実分 18,079 千円）